

西暦 2020 年 11 月 9 日

2008 年 8 月から 2011 年 7 月の期間に消化器癌、炎症性腸疾患、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、アルコール性肝所以外、脂肪性肝疾患、慢性肝炎、自己免疫性肝炎、ウイルソン病等の治療のため当院を受診された患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた試料・情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（西暦 2014 年 12 月 22 日制定 西暦 2017 年 2 月 28 日一部改正）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の試料・診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名 消化器疾患における小胞体ストレスならびにオートファジーの意義
2. 研究期間 2011 年 8 月より 2025 年 7 月まで
3. 研究機関 産業医科大学病院
4. 実施責任者 産業医科大学 第 3 内科学 教授 原田 大

5. 研究の目的と意義

近年、神経変性疾患などいくつかの病気で細胞の蛋白質を作る機構と分解する機構のバランスの異常で病気が起こるようなことが明らかとなっています。この研究の目的は消化器疾患において蛋白質の合成系、分解系、細胞増殖ならびに細胞死の関連を調べ、病態の解明と新たな治療法の開発に繋げることです。

6. 研究の方法

消化器癌(胃癌、大腸癌、膵癌、肝細胞癌)、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、アルコール性肝障害、脂肪性肝疾患、慢性肝炎、自己免疫性肝疾患ならびにウイルソン病の患者様を対象とします。診断のために行った生検の組織を用いて蛋白質の産生、分解、細胞の増殖、細胞死に関連する蛋白の発現の状態を検討します。遺伝子を調べたり致しません。

7. 個人情報の取り扱い

あなたの個人情報は、分析する前にカルテや試料の整理簿から、住所、氏名、生年月

日を削り、代わりに新しく符号をつけ、あなたとこの符号を結びつける対応表は本学個人識別情報管理者の管理の下で研究実施責任者が厳重に管理し、あなたの個人情報の漏洩を防止します。また、この研究によって得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、あなたを特定できる氏名、住所などの個人情報は一切使用いたしません。ご自身の試料・診療情報の利用に関して希望されない場合には下記問い合わせ先に連絡ください。

8. 問い合わせ先

福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1 産業医科大学 第3内科学

電話番号 093-603-1611

担当者 本間 雄一

9. その他

本研究参加による直接的な利益はありません。

本研究では経済的負担及び謝礼はありません。

本研究の利益相反は産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保めます。